

三原市立第四中学校 第2学年 保健体育科学習指導案

単元名：球技「バレーボール」

指導者：三原市立第四中学校 半川 壮一郎

- 1 日 時 : 平成26年5月28日(水) 第6校時
- 2 場 所 : 体育館
- 3 学年・学級 : 第2学年1組(10名) 計10名
- 4 単元名 : 球技「バレーボール」

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領 E 球技 第2学年の1 技能「(1) イ ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開すること。」、2 態度「(2) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。」、3 知識、思考・判断「(3) 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。」にあたる。

球技は、ゴール型、ネット型、及びベースボール型から構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、個人対個人、集団対集団で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

ネット型の球技では、ラリーを続けることを重視して、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きなどによる空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにすることが求められる。また、学習に積極的に取り組み、フェアにプレイすること、自己の役割を果たすことや、話し合いに参加することなどに意欲をもち、自己の健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにすることをねらいとしている。

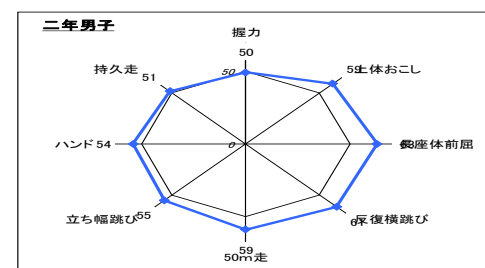
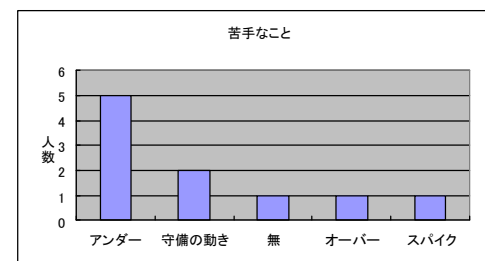
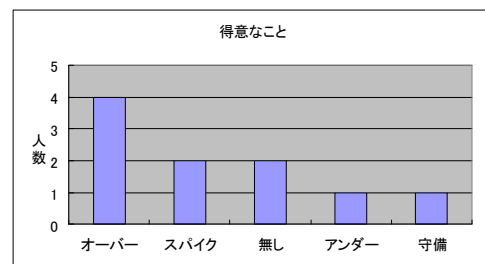
(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学年は、どの単元でも真面目に積極的に取り組むことができる学年である。オリエンテーションで行った試合内容を分析すると、1 学年で学習した三段攻撃を用い、攻防を行なおうとする意欲は見られた。しかし、多くの生徒がラリーの途中で相手コートにボールを返すことに夢中になり、三段攻撃を行わず一回で返していた。また、ボール操作の技能や仲間と連携した動き、ネット際でのプレイの精度など課題が多く見られた。

事前アンケートの「バレーボールは好きですか」という質問に対して90%の生徒が「好き」と答えている。好きな理由には『スパイクが決まると気持ちいいから』『ラリーが続くとドキドキして楽しい、エネルギーが貯まっていく感じがする』『みんなと協力することが楽しい』『フォローすることがカッコイイ』と、バレーボールに対して良いイメージを持っている生徒が多いことが分かる。特に、ボールをつなぐというイメージに肯定的な意見が多く、ネット型のスポーツの特徴をよく理解していると言える。

「得意なこと」ではオーバーやスパイクが60%を占めており、「苦手なこと」ではアンダー、守備の動きが70%を占めている。

アンケート結果から、バレーボールは好きであるが、アンダーや守備の動きで難しさを感じていることが分かる。しかし、興味・関心が高いため、技能や守備の動きを徹底的に指導することでより高



いレベルの授業が展開できると考える。

新体力テストの結果からは、握力以外は全国平均を上回っていることがわかる。バレーボールでは、敏捷性や瞬発力に関する能力が大きく関与しており、能力的にはバレーボールに向いている集団と言える。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

球技における「バレーボール」はコート上でネットをはさんで相対し、身体を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合う運動である。そのため、基本技能とスペースを意識した攻防の仕方の習得がバレーボールを楽しむための最低条件になると考える。また、バレーボールの様なネット型のスポーツは、ラリーを続けることで面白さが増すスポーツであるため、三段攻撃を意識させた攻防も大切にさせたい。そこで、指導に関しては、毎時間の技能のドリルにより基本技能の習得を促し、対人パス、円陣パスを行い基本技能の活用の場面を理解させていきたい。その際、話し合いや表現などの言語活動の場を設定しねらいに迫っていききたい。具体的には、対人パスや円陣パスにおいてボールをつなぐ際に、なぜその技能を選択したのか話し合わせたり、視覚的に確認させたりし、ボールをつなぐための思考力や判断力を付けていきたい。加えて、スリーメンや三段攻撃の練習、ラリー練習においてどのような組み立て、守備の仕方をしたら良いのかを指導する。また、自分たちのプレイを視覚的に理解したり、話し合わせたり、発表させたりする。そして、個人の課題やグループの課題をまとめさせ、バレーボールに関する思考力を付けながら進めていきたい。加えて、家庭学習で状況判断シートを配布し、様々な場面を想定し、アイデアを育成していきたい。また、正々堂々とプレイする精神と競い合う中にも相手を思う心を育てるため試合前後の挨拶や握手を徹底していきたい。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防が展開できる。(技能)
- 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 技能	エ 知識・理解
①積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとしている。 ②作戦などについての話し合いに参加しようとしている。	①基礎的な知識や技能を活用して、課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ②ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。	①オーバー、アンダー、スパイクなどのボール操作を安定して行うことができる。 ②基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻り次の攻撃に備えることができる。	①球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。

6 指導と評価の計画 (全12時間)

次	学習内容	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1次(1時間)	オリエンテーション	○			◎	ア①積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとしている。 エ①球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解する。	行動観察 ワークシート
2次(4時間)	○基礎的・基本的技能の習得 ○対人パス ○円陣パス ○簡易ゲーム (ビーチボール使用)		○	◎		ウ①オーバー、アンダー、スパイクなどのボール操作を安定して行うことができる。 イ①基礎的な知識や技能を活用して、課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	行動観察 ワークシート 技能テスト
3次(4時間)	○スリーメン (定位置へ戻る動き) ○三段攻撃 本時(2/4) ○ラリー練習 (バレーボール使用)		○	◎		イ②ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ウ②基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻り次の攻撃に備えることができる。	行動観察 ワークシート 状況判断 シート 発表
4次(3時間)	○チーム戦術の習得 (ブロック、フォーメーション) ○試合	○		◎		ア②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ウ②基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻り、次の攻撃に備えることができる。	行動観察 ワークシート

7 本時の展開

(1) 本時の目標

○空いた場所を作らないように定位置に戻り守備を行い、三段攻撃を用いてラリーを行う。

(2) 本時の評価規準

◎基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻り、次の三段攻撃に備えることができる。(技能)

○ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。(思考・判断)

(3) 準備物

バレーボール 得点板 ホワイトボード タイマー ビデオカメラ テレビ

(4) 学習の展開

	学習活動	○指導上の留意事項 (◆努力を要すると判断される 生徒への手立て)	評価規準	評価方法
導 入	1 整列・挨拶 2 準備運動・補強運動【3分】 3 既習内容の確認【3分】 本時のねらいの確認 本時の学習内容の確認	○正しい整列をするように係を中心と呼びかけ授業1分前から、授業への姿勢をつくる。 ○けが予防のために準備運動を十分行うように留意する。 ○ねらいを意識させ、授業に対する意欲を高めさせる。		
スペースを埋め、相手の攻撃に備えて守備をしよう！！				
展 開	4 基本技能ドリルを行う。 ・オーバー、アンダー、スパイク 【各30秒】 5 対人パス【2分】 ・レシーブ→オーバー→スパイクの順に行う。二人で5回を目標に行う。 6 スリーメン【2分×3本】 ・ビデオで自分たちのプレイを分析する。【10分】 ・1つのグループの映像を見せ、【攻撃に備えるためには何が必要か】を個人で考えホワイトボードにまとめる。 ・個人思考をグループで共有し、話し合わせ、発表させる。	○基本技能を行わせ、ボールに慣れさせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 共感的人間関係 </div> ○ペアを作り行わせる。基本技能の活用を意識させる。 ◆ペアを変えたり、教師と一緒にいたりして正しい基本技能の活用場面を教える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 自己存在感 </div> ○守備を行った後、すぐに定位置へ戻り次の攻撃に備える動きを身に付けさせる。 ○攻撃に備えるためには何が必要か考えさせ、三段攻撃練習につなげる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 書く活動 (思考の整理) </div> ○個人思考をホワイトボードにまとめさせ、個人の意見を持ちグループの話し合いにつなげさせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 話す活動 (説明) </div> 予測される生徒の答え 【声、低い姿勢、予測、カバーの動き、勇気、確かな技術】 ◆取れる位置へボールを出し、少しずつ動きを身に付けさせていく。	○ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 【思考・判断】	行動観察 発表
	7 三段攻撃練習【3分×2本】 ・チャンスボールを三段攻撃で相手コートに返す練習を行う。 ・相手コートから返ってくるボールに	○スリーメンで習得した守備の動きを活用し、三段攻撃につなげるようにさせる。守備に必要なものを意識させる。 【生徒の意見+教師の指導】	○基本的なステップなどを用いて、自分のコートに空いた場所を	行動観察

	<p>対応してラリーを続ける。</p> <p>8 試しのゲームを行う。 【15分】 ・学習した内容を意識し、ラリーを続ける。</p>	<p>○最初のカットをアンダーで行うのか、オーバーで行うのか判断するように指導する。</p> <p>○トスはセッターが行うことを意識させる。</p> <p>○学習した守備を活かしながら、三段攻撃を用いて試合を行わせる。</p>	<p>作らないように定位置に戻り、次の三段攻撃に備えることができる。 【技能】</p>	
まとめ	<p>9 本時のまとめと反省 【5分】</p> <p>10 次時の確認</p> <p>11 整列・挨拶・片付け</p>	<p>○本時のねらいを達成できたか、振り返り、発表させる。</p> <p>○チーム戦術の習得を行うことを伝える。</p> <p>○正しい姿勢ができているか、確認を行う。</p>		